

保育士養成課程の教科目に係る体系図（イメージ）

※ 本資料は、保育士養成課程の教科目の見直しに向けた検討に当たって、現行の教科目全体を俯瞰できるよう、便宜的に教科目や教授内容を体系的に整理したものの。

【総括的事項】

習得した知識・技術の統合／保育に関わる現代的な課題の把握・考察

保育実践演習（演習2）

【専門的事項】

論点1
(1)

0～2歳児保育
乳児保育
(演習2)

幼児教育

保育内容演習
(演習5)

障害児保育

障害児保育
(演習2)

社会的養護

社会的養護内容
(演習1)

社会的養護
(講義2)

論点4
(1)①②

子育て支援

保育相談支援
(演習1)

相談援助
(演習1)

【実践的事項】

保育実習Ⅲ
(実習2)

保育実習指導Ⅲ
(演習1)

保育実習Ⅱ
(実習2)

保育実習指導Ⅱ
(演習1)

【実践的事項】

保育実習Ⅰ
(実習4)

保育実習指導Ⅰ
(演習2)

【基礎的事項】

【児童（子ども）の保育に関する科目】

保育の内容

保育内容総論
(演習1)

保育の方法

保育の心理学Ⅱ
(演習1)

養護

子どもの保健Ⅱ (演習1)

子どもの保健Ⅰ (講義4)

子どもの食と栄養 (演習2)

【保護者指導に関する科目】

子ども家庭支援に係る対象や内容・方法等

家庭支援論
(講義2)

【基盤となる科目】

原理・理念としての科目

保育原理 (講義2)

教育原理 (講義2)

児童家庭福祉 (講義2)

社会福祉 (講義2)

論点5
(1)

保育者論 (講義2)

保育や子育て支援の対象理解

保育の心理学Ⅰ
(講義2)

【教養科目】

(必修2単位以上)

体育 (講義1)

体育 (演習1)

(選択必修6単位以上)

外国語 (演習2)

その他 (6)

保育士養成課程教科目と保育士試験科目

【保育士養成課程教科目】

	系列	教科目	設置単位数	履修単位数
教養科目		外国語(演習)	2以上	
		体育(講義)	1	1
		体育(実技)	1	1
		その他	6以上	
教養科目 計			10以上	8以上
必修科目	①保育の本質・目的に関する科目	保育原理(講義)	2	2
		教育原理(講義)	2	2
		児童家庭福祉(講義)	2	2
		社会福祉(講義)	2	2
		相談援助(演習)	1	1
		社会的養護(講義)	2	2
		保育者論(講義)※H22新設	2	2
		計13	計13	
	②保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ(講義)	2	2
		保育の心理学Ⅱ(演習)	1	1
		子どもの保健Ⅰ(講義)	4	4
		子どもの保健Ⅱ(演習)	1	1
		子どもの食と栄養(演習)	2	2
		家庭支援論(講義)	2	2
		計12	計12	
	③保育の内容・方法に関する科目	保育課程論(講義)※H22新設	2	2
		保育内容総論(演習)	1	1
		保育内容演習(演習)	5	5
		乳児保育(演習)	2	2
		障害児保育(演習)	2	2
		社会的養護内容(演習)	1	1
		保育相談支援(演習)	1	1
		計14	計14	
	④保育の表現技術	保育の表現技術(演習)	4	4
	⑤保育実習	保育実習Ⅰ(実習)	4	4
保育実習指導Ⅰ(演習)		2	2	
総合演習	保育実践演習(演習)	2	2	
必修科目 計			51	51
選択必修科目	保育に関する科目(上記①～⑤の系列より科目設定)		15以上	6以上
	保育実習Ⅱ又はⅢ(実習)		2	2
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ(演習)		1	1
	選択必修科目 計		18以上	9以上
合計			79以上	68以上

【保育士試験科目】

保育原理
教育原理
児童家庭福祉
社会福祉
社会的養護
保育の心理学
子どもの保健
子どもの食と栄養
保育実習理論
保育実習実技